岡山市広報連絡資料＜市長記者会見資料＞

令和8年11月25日

令和８年度 11 月補正予算（案）について お知らせします

令和8年度11月補正予算(案)について発表します。

内 容

詳細は別紙にてご確認ください。

【問い合わせ先】
岡山市　財政課　粕山・橋本　　直通086-803-1146　内線25050・25051

令和8年度11月補正予算(案)について

1 補正予算(案)の概要

本補正予算（案）は、岡山シンフォニービル改修事業の物価高騰に伴うインフレスライド条項適用等による事業費の増や令和９年10月に予定している宿泊税導入に伴う宿泊施設のレジシステム改修等に必要な経費に対する支援、令和14年度中の供用開始を目指すアリーナ整備事業の入札手続き及び契約締結のための債務負担行為の設定等について編成するものです。

	（補正額）	（補正後予算額）	（対前年同期比）
一般会計	3億95百万円	4,330億37百万円	102.9%
特別会計		1,970億38百万円	100.7%
事業会計		814億88百万円	102.4%
予算総額	3億95百万円	7,115億63百万円	102.2%

《主な事業》

○岡山シンフォニービル改修事業について、工事請負契約約款（インフレスライド条項）に基づく建築資材の高騰分等を増額します。

○利用者の熱中症予防のため、障害者体育センターに空調を整備します。

○令和９年10月に予定している宿泊税導入に伴い、宿泊施設の宿泊税徴収に必要なレジシステムの改修等を支援します。

○岡山市教育センター（仮称）整備事業について、熊本地震の影響等による工期延長に伴い、整備費を増額します。

○台風６号等の豪雨により被災した農地の災害復旧工事を行います。

○令和14年度中の供用開始を目指すアリーナ整備事業の入札手続き及び契約締結のための債務負担行為の設定を行います。

2 予算額

(1) 予算総額

(単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額	前年度同期	伸び率
一般会計	432,641,951	394,700	433,036,651	420,641,302	102.9%
特別会計	197,038,167		197,038,167	195,685,130	100.7%
事業会計	81,487,364		81,487,364	79,581,223	102.4%
合計	711,167,482	394,700	711,562,182	695,907,655	102.2%

(2) 一般会計

ア 歳入

(単位:千円)

款	補正前の額	補正額	補正後の額	構成比
市税	143,589,274		143,589,274	33.2%
地方譲与税	2,579,000		2,579,000	0.6%
利子割交付金	235,000		235,000	0.1%
配当割交付金	1,151,000		1,151,000	0.3%
株式等譲渡所得割交付金	1,611,000		1,611,000	0.4%
分離課税所得割交付金	146,000		146,000	0.0%
法人事業税交付金	2,078,000		2,078,000	0.5%
地方消費税交付金	19,858,000		19,858,000	4.6%
ゴルフ場利用税交付金	101,000		101,000	0.0%
軽油引取税交付金	3,635,000		3,635,000	0.8%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	57,000		57,000	0.0%
地方特例交付金	4,099,000		4,099,000	0.9%
地方交付税	55,800,000		55,800,000	12.9%
交通安全対策特別交付金	183,000		183,000	0.0%
分担金及び負担金	5,587,345	1,800	5,589,145	1.3%
使用料及び手数料	6,391,423		6,391,423	1.5%
国庫支出金	90,779,159		90,779,159	21.0%
県支出金	24,229,450	8,000	24,237,450	5.6%
財産収入	2,830,719		2,830,719	0.6%
寄附金	2,038,330		2,038,330	0.5%
繰入金	14,789,088		14,789,088	3.4%
繰越金	879,126	122,000	1,001,126	0.2%
諸収入	5,913,437		5,913,437	1.4%
市債	44,081,600	262,900	44,344,500	10.2%
合計	432,641,951	394,700	433,036,651	100.0%

イ 歳 出

（単位:千円）

款	補正前の額	補正額	補正後の額	構成比
議会費	1,235,348		1,235,348	0.3%
総務費	41,325,126	197,700	41,522,826	9.6%
民生費	168,678,481	34,000	168,712,481	39.0%
衛生費	48,363,034		48,363,034	11.2%
労働費	269,826		269,826	0.1%
農林水産業費	7,102,142		7,102,142	1.6%
商工費	2,811,497	75,000	2,886,497	0.7%
土木費	50,109,043	12,000	50,121,043	11.6%
消防費	11,313,020		11,313,020	2.6%
教育費	68,839,515	58,000	68,897,515	15.9%
災害復旧費	199,000	18,000	217,000	0.0%
公債費	32,195,919		32,195,919	7.4%
予備費	200,000		200,000	0.0%
合　　計	432,641,951	394,700	433,036,651	100.0%

(3) 特別会計

（単位:千円）

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
国民健康保険費	62,126,550		62,126,550
用品調達費	42,676		42,676
災害遺児教育年金事業費	16,738		16,738
公共用地取得事業費	187,167		187,167
財産区費	10,385		10,385
学童校外事故共済事業費	13,089		13,089
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	180,189		180,189
介護保険費	73,311,455		73,311,455
後期高齢者医療費	15,131,625		15,131,625
公債費	43,714,247		43,714,247
岡山市立総合医療センター病院事業債	2,304,046		2,304,046
合　　計	197,038,167		197,038,167

(4) 事業会計

(単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
病院事業会計	169,254		169,254
水道事業会計	28,990,000		28,990,000
工業用水道事業会計	330,000		330,000
市場事業会計	1,012,590		1,012,590
下水道事業会計	50,985,520		50,985,520
合計	81,487,364		81,487,364

(5) 基金の状況

(単位:百万円)

区分	7年度末現在高	8年度中見込				8年度11月補正後現在高見込
		積立金		取崩額		
		9月補正まで	11月補正	9月補正まで	11月補正	
財政調整基金	23,035	7,040		7,000		23,075
市債調整基金	1,819	281				2,100
公共施設等整備基金	15,910	242		2,000		14,152
合計	40,764	7,563		9,000		39,327

(注)市債調整基金は、臨時財政対策債償還基金費及び満期一括償還地方債に係る額を除く。

(6) 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区分	7年度末残高	8年度中見込					8年度末残高見込
		元金償還金	借入額				
			前年度からの繰越分	9月補正まで	11月補正	借入合計	
一般会計	342,287	28,520	6,969	44,081	263	51,313	365,080
特別会計	12,483	1,114		1,062		1,062	12,431
事業会計	217,957	17,444	4,996	18,396		23,392	223,905
合計	572,727	47,078	11,965	63,539	263	75,767	601,416
(再掲)普通会計	351,778	29,497	6,969	45,143	263	52,375	374,656

(注) 満期一括償還地方債の償還財源に充てるために市債調整基金へ積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

3 主な事業

金額欄の(　)は一般財源充当額、単位:千円

区　分	事　業　名	金　額	説　　明
総務費	岡山シンフォニービル改修事業	(20,600) 197,700	建築資材の高騰等に伴い、岡山シンフォニービル改修事業費を増額補正 [緊急防災・減災事業債充当事業] 【担当課:文化振興課】
民生費	障害者体育センター空調整備事業	(0) 34,000	利用者の熱中症予防のため、障害者体育センターに空調を整備 [債務負担行為設定]　期間　R8～R9 限度額　51,000 [緊急防災・減災事業債充当事業] 【担当課:障害福祉課】
商工費	岡山市宿泊税レジシステム改修等補助金	(75,000) 75,000	令和9年10月に予定している宿泊税導入に伴い、宿泊施設の宿泊税徴収に必要なレジシステムの改修等を支援 [繰越明許費設定]　設定額　75,000 【担当課:観光振興課】
土木費	国補公園緑地整備事業	(12,000) 12,000	北長瀬未来ふれあい総合公園の第2駐車場の廃止に伴い、代替駐車場を整備 [繰越明許費設定]　設定額　12,000 【担当課:庭園都市推進課】
教育費	岡山市教育センター(仮称)整備事業	(13,200) 58,000	熊本地震の影響等による工期延長に伴い、整備費を増額補正 [繰越明許費設定]　設定額　1,439,813 【担当課:教育研究研修センター】
災害復旧費	農地災害復旧事業	(1,200) 18,000	令和8年6月2日、3日の台風6号による豪雨により被災した農地(北区芳賀)及び令和8年6月24日～26日の令和8年梅雨前線豪雨により被災した農地(北区日近、菅野地内)の復旧に係る経費 [繰越明許費設定]　設定額　7,500 【担当課:農村整備課】

【債務負担行為に関するもの】

区　分	事　業　名	期　間	説　　明
総務費	アリーナ整備事業	R8～R44	トップリーグの試合や大規模コンサート、展示会等の開催に対応するとともに、防災機能を備えた最大収容人数1万人程度の多目的アリーナを建設 限度額　34,000,000 【担当課:スポーツ振興課】
土木費	国補道路新設改良事業	R8～R9	県道佐伯長船線道路改良事業における、既設道路構造物の取壊し費や運搬処分費等の追加 限度額　17,700 ［合併推進債充当事業］ 【担当課:道路計画課】
	公共街路事業	R8～R9	労務単価の高騰に伴い、下中野平井線橋梁上部工新設事業費を増額 限度額　20,000 ［合併推進債充当事業］ 【担当課:道路計画課】
教育費	中学校体育館空調設備整備事業	R8～R9	労務単価の高騰に伴い、中学校体育館空調整備工事費を増額 限度額　132,000 【担当課:学校施設課】

【債務負担行為(※ゼロ市債)に関するもの】

区　分	事　業　名	期　間	説　　明
土木費	都市交通戦略推進事業	R8～R9	上道駅バリアフリー化工事 限度額　160,000 【担当課:交通政策課】
	国補公園緑地整備事業	R8～R10	石山公園再整備事業 限度額　246,500 【担当課:庭園都市推進課】
	単独道路改修事業ほか	R8～R9	道路改良・舗装事業ほか 限度額　1,601,100 【担当課:道路計画課、道路港湾管理課】
教育費	学校給食調理場空調設備整備事業	R8～R9	学校給食調理場に空調設備を整備 限度額　350,000 【担当課:保健体育課】
水道事業会計	配水管布設工事ほか	R8～R9	老朽管の更新ほか 限度額　2,391,000 【担当課:経営管理課】
下水道事業会計	公共下水道整備事業ほか	R8～R9	汚水管の埋設ほか 限度額　692,800 【担当課:下水道管路保全課、下水道管路整備課】

※　施工時期の平準化を図るため債務負担行為を設定するが、当年度の支出は伴わないもの。

令和8年度11月補正予算(案)について

令和8年11月25日

岡山市
OKAYAMA CITY

令和８年度１１月補正予算（案）の概要

岡山シンフォニービル改修事業の物価高騰に伴うインフレスライド等による事業費の増、
令和9年10月導入予定の宿泊税に伴う宿泊施設のレジシステム改修に必要な経費に対する支援、
令和14年度中の供用開始を目指してアリーナを整備するための債務負担行為の設定　などについて編成

１　歳入歳出予算の補正

一般会計補正額　３億９５百万円

（主な内容）岡山シンフォニービル改修事業　１億９８百万円
宿泊税レジシステム改修等補助金　７５百万円

（一般会計の財源）

県補助金	8百万円
地方債	2億63百万円
その他	2百万円
一般財源（繰越金）	1億22百万円

２　債務負担行為の設定

一般会計　３７９億９２百万円
水道事業会計　２３億９１百万円
下水道事業会計　６億９３百万円

（主な内容）アリーナ整備運営に係る経費　３４０億円
公共工事の施工時期平準化　５８億２０百万円

（内訳）

一般会計	２７億３６百万円
水道事業会計	２３億９１百万円
下水道事業会計	６億９３百万円

アリーナ整備事業における11月補正予算の概要

補正予算概要

令和9年2月頃予定しているアリーナ整備運営事業の入札公告のため、PFI事業費の債務負担行為の設定等を行います。

アリーナ整備運営事業PFI事業委託料　**34,000,000**　千円

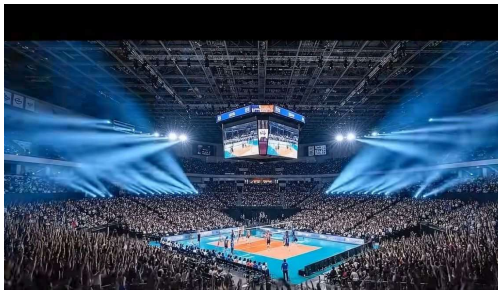
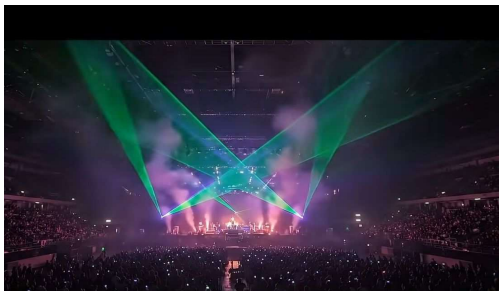
【債務負担行為（令和8年度～令和44年度）】

〇設計、施工、維持管理、運営一括で発注

令和9年2月：入札公告

令和10年3月：契約締結

令和10年3月～令和45年3月：PFI事業契約期間　（設計・建設5年、維持管理・運営30年）



選ばれるアリーナの実現に向けて

ポイント

観客・興行主双方から「選ばれる」アリーナ

「選ばれる」アリーナの条件

【観 客 目 線】 **ホスピタリティを重視した、全ての来場者が楽しめる快適な観覧環境**

【興行主目線】 **十分な席数やバックヤード等を備えた使い勝手の良い施設**

〇コンサート需要の変化への対応

・コンサートは物価高騰等によるコスト増の一方、チケット代に転嫁しにくい収益構造

・収益性を確保するために席数が必要で、席数が確保できない地方のコンサートは開催を見送る傾向

➡ **コンサート時8,000席を確保するとともに、一人当たりの面積を確保**

〇利便性等の向上

・トラック等を敷地内に収められることにより、準備時間の短縮や、周辺の渋滞緩和が可能

➡ **バックヤード・搬出入口等を広く確保**

債務負担行為額の考え方

●整備費(想定)

	追加調査		11月補正	摘　　要	増額
物価高騰 (㎡単価)	84万円/㎡	→	101万円/㎡	19.8%上昇(令和6年7月⇒令和9年2月)	＋49億
延べ床面積	約26,000㎡ (25,700㎡)	→	約27,400㎡	増席(500席) ・コンサート需要への対応 ・ホスピタリティ向上	＋14億
敷地 (PFI事業敷地)	約16,200㎡	→	約26,700㎡	敷地増 ・道路廃止部分(6,600㎡) ・第2駐車場廃止部分(3,900㎡)	＋7億円
想定整備費	275～280億円	→	350億円	※運営権対価:10億円 **岡山市負担上限額:340億円**	約70億

●運営費(想定)

	追加調査		11月補正	摘　　要
収　入	414,100千円/年 (貸館収入のみ)	→	667,400千円/年 (貸館収入以外含む)	貸館収入以外 ・ネーミングライツ、テナント、飲食ほか
支　出	431,600千円/年	→	594,580千円/年	物価高騰を反映

※利益:72,820千円/年(30年間:2,184,600千円)→運営権対価(利益の1/2):10億円

整備費に充当

敷地拡大について

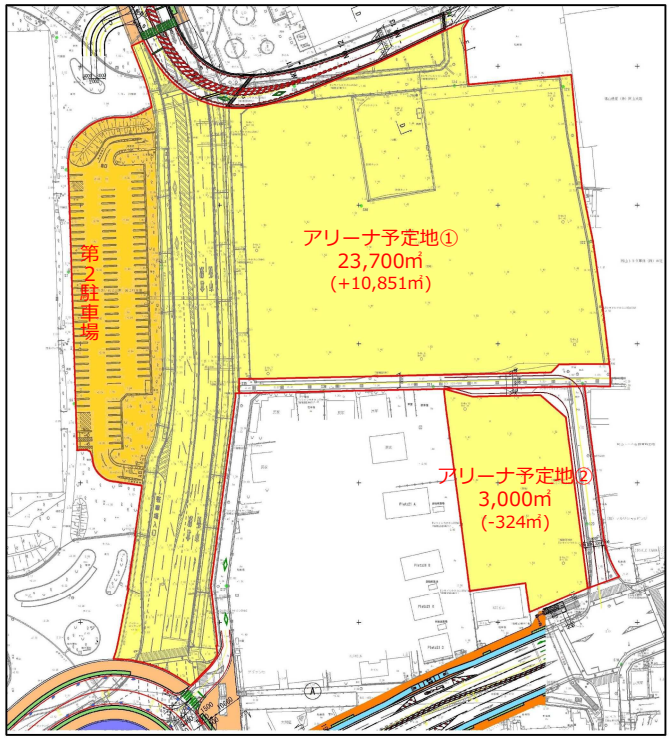
敷地（PFI事業敷地）について

	追加調査		11月補正	摘　　要	増額
敷地 （PFI事業敷地）	約16,200㎡	→	約26,700㎡	・道路廃止部分（6,600㎡） ・第2駐車場廃止部分（3,900㎡）	＋7億円

〇施設の利便性を向上させ、使い勝手を高めるため、事業範囲を拡大

➢第2駐車場の代替駐車場をみはらしプラザ南側市有地へ整備 ➡ 令和8年11月補正予算において、設計費 12,000千円 を計上





運営収支、運営権対価の考え方

運営権対価の見込み

【年間収支見込】

分類	年間収入見込	摘要
貸館収入	418,400千円	プロスポーツ54日、コンサート17週末、展示会・イベント82日 サブアリーナ300日
非貸館収入	249,000千円	ネーミングライツ、VIPルーム、テナント、広告、飲食・物販等
計	①667,400千円	

費目	単価	年間支出見込	摘要
維持管理費	7,900円/㎡・年	216,460千円	スマートベニューハンドブックに物価高騰等を反映
運営費	6,300円/㎡・年	172,620千円	
その他経費	2,700円/㎡・年	73,980千円	
光熱費	4,800円/㎡・年	131,520千円	
計		②594,580千円	

【運営権対価見込み】

30年間の利益の半分と想定

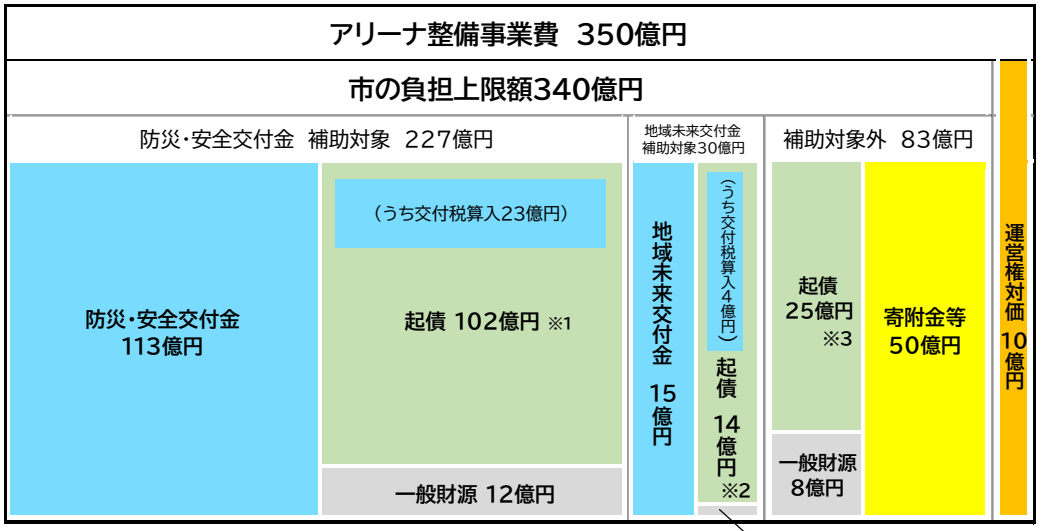
※運営権対価＝{(年間収入－年間支出)×30年間}÷2(事業者と折半)

＝{(①667,400千円－②594,580千円)×30}÷2≒ 1,000,000 千円

72,820千円

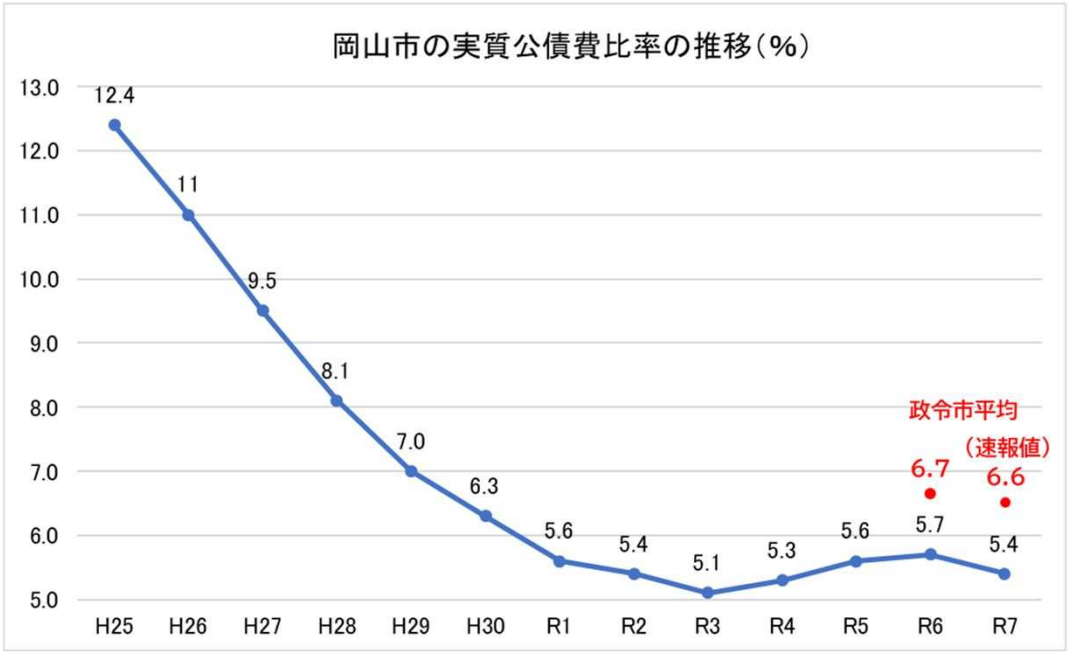
アリーナ整備事業の財源計画

R8.11



実質負担額

国	155億円	※1 公共事業等債：充当率90%、交付税算入率22.2%
市	135億円	※2 一般補助施設整備等事業債：充当率90%、交付税算入率30%
経済界等	50億円	※3 一般単独事業債：充当率75%、交付税算入率0%
運営権対価	10億円	



岡山市の実質的な負担

○交付税算入額を除いた実質的な負担

・総額：135億円
- 起債：114億円
  {(102-23)+(14-4)+25)}
- 一般財源：21億円
  (12+1+8)

○起債返済額

・元金　　114億円÷30年=3.8億円／年

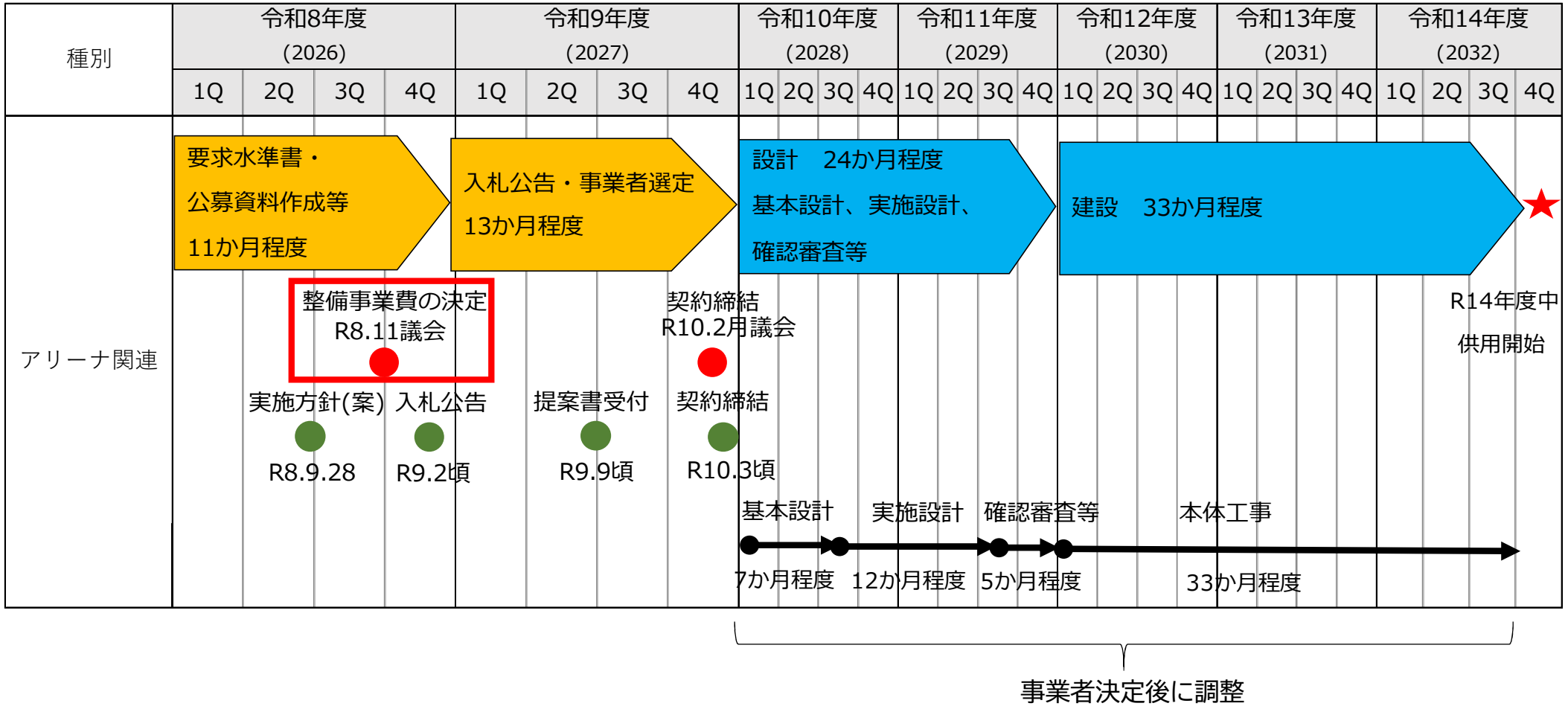
・利子　利子総額51億円÷30年=1.7億円／年

○実質公債費比率

(元金3.8億円+利子1.7億円)÷3,507億円=0.16%

※実質公債費比率の試算に必要な借入利率及び標準財政規模の伸び率については、国の「中長期の経済財政に関する試算（内閣府・令和8年7月公表）」に示された名目長期金利及び名目GDP成長率を参考に用いている。
（借入利率：2.9%、平均成長率：2.0%、平均標準財政規模等：3,507億円）

アリーナ整備事業の今後のスケジュール



岡山市宿泊税レジシステム改修等補助金

R8.11.25
観光振興課

事業内容

予算　75,000千円

①事業概要
　令和9年10月1日から導入を予定している宿泊税について、宿泊施設が宿泊税の徴収に必要となるレジシステムの改修等を円滑に実施できるよう、改修等に要する経費を補助する。

②補助対象者
　宿泊税の特別徴収義務者としての登録を申請している市内の宿泊事業者

③補助対象経費
・既存のレジシステム改修
・新たなレジシステム構築
・ハードウェア及びソフトウェアの購入

対象経費の例
・毎日の宿泊者数や税額を月ごとに集計する機能の追加
・領収書に「宿泊税」の記載を印字する機能の追加
・宿泊税額を管理するソフトウェアの購入
・領収書や帳票類の管理、出力等に用いる機器の購入　など


領収書

○○　○○様　　○○○号室
人数　1名

日付	項目	金額
○月○日	宿泊料金	10,000円
	消費税等	1,000円
	宿泊税	200円
	合計	11,200円



④補助金額等
・補助率：補助対象経費の10分の10
・補助上限額：1施設あたり50万円

本市の宿泊税制度

- 納税義務者：市内の旅館、ホテル、民泊施設等への宿泊者
- 税額：1人1泊につき200円（一律定額）
- 宿泊税の使途：本市が抱える観光課題の解決に資する施策に活用。宿泊需要を創出するための「新たな夜間イベントの実施」や認知度向上のための「誘客プロモーション」などを検討中

その他

【特別徴収事務交付金】制度の導入を検討中

- 宿泊施設が本市へ納期内に納付した宿泊税額に、一定の交付率を乗じた金額を交付する制度
- 交付率…3%
  ※交付に要する予算は、令和10年度予算に計上予定

令和８年度１１月補正予算（案）補足資料

補足資料ページ	事　　業　　名	記者発表資料掲載ページ
11	アリーナ整備事業	6
12	宿泊税レジシステム改修等補助金	5

令和８年度１１月補正予算（案）補足資料

〔事務事業名〕　アリーナ整備事業等

１　事業の趣旨

アリーナを整備運営する事業者を募集するため、設計から建設、維持管理、運営までのＰＦＩ事業費の債務負担行為を設定するとともに、周辺整備に必要な予算を計上する。

アリーナ整備により、地元トップチームの試合に加え、今まで岡山では見ることができなかったライブ・コンサートやＭＩＣＥなどの大規模イベントの開催が可能となり、市内外に大きな経済効果をもたらすだけでなく、岡山への愛着や誇りを醸成する。

２　事業内容及び事業費

（１）アリーナ整備事業

アリーナ整備運営事業に係る市の負担上限額として債務負担行為を設定

３４，０００，０００千円【債務負担行為】

（令和８年度～令和４４年度）

（２）国補公園緑地整備事業

アリーナ計画地の事業用地拡大に伴い、代替駐車場の測量設計を実施

１２，０００千円【繰越明許費設定】

３　アリーナ整備運営スケジュール（参考）

・令和８～９年度　　事業者の募集・選定
・令和１０～１１年度　設計
・令和１２～１４年度　建設
・令和１４～４４年度　維持管理・運営

担当課名	スポーツ文化局スポーツ文化部 スポーツ振興課
担当者名	アリーナ整備推進担当課長 花田　光徳
電　　話	内線 28057 直通 803-1617
担当課名	都市整備局都市・交通部 庭園都市推進課
担当者名	公園緑地担当課長 宮内　和志
電　　話	内線 33251 直通 803-1392

令和８年度１１月補正予算（案）補足資料

〔事務事業名〕　岡山市宿泊税レジシステム改修等補助金

１　事業概要

令和９年１０月１日から導入を予定している宿泊税について、宿泊施設が宿泊税の徴収に必要となるレジシステムの改修等を円滑に実施できるよう、改修等に要する経費を補助する。

２　補助対象者

宿泊税の特別徴収義務者としての登録を申請している市内宿泊事業者

３　補助対象経費

・既存のレジシステム改修
・新たなレジシステム構築
・ハードウェア及びソフトウェアの購入

４　補助金額等

・補助率：補助対象経費の１０分の１０
・補助上限額：１施設あたり５０万円

３　事業費

（１）歳出額　　７５，０００千円

（２）財源内訳

・一般財源　　７５，０００千円

担当課名	産業観光局 観光部 観光振興課
担当者名	課長　新居田　克則
電　　話	内線　３２２００ 直通　８０３－１３３２